

フォームコートA-2使用例

当社剥離剤 A-2→



←他社の剥離剤



フォームコートA-2有り



フォームコートA-2無し



フォームコートA-2

フォームコートKS(トンネル向き)

消気泡効果型コンクリート剥離剤



地球環境を考える
FS 株式会社 **フォーム産業**

〒891-0150 鹿児島市坂之上六丁目15番17号

TEL(099)263-0770 FAX(099)263-0788

フォームコートA-2 (消気泡効果型 コンクリートはくり剤)

現在、益々コンクリート建造物及び製品の検査管理の基準が向上し、強度的問題はもちろん、仕上げ面の良否（平滑であるか、色はどうか、気泡の程度はどうか、表面郷土はどうか）など重点視され、施工業者の技術的評価の一つとなっています。フォーム産業はこれらの解決に大きな役割を担っています剥離剤に着眼し、消気泡効果及び剥離強化を生むフォームコートA-2を開発致しました。



コンクリート仕上げ面の追求点

1. 生コンの良否（使用セメント・骨材・スランプ・混合状態・混和剤等）
2. 生コンの打ち込み方の良否
3. 締固め方式の良否（パイプレータの掛け方）
4. 建造物の形状（テーパの有無）
5. 型枠表面の良否
6. 使用コンクリート剥離剤の良否（フォームコートA-2）（フォームコートKS）※トンネル向き



フォームコートA-2剥離剤について

コンクリート剥離剤の役割

第1に剥離力が良いことが必須じょうけんであり、かつ生産性の良いもの。即ちコンクリート付着による製品表面の肌荒れや割れ（欠落）を防止し、又型枠の汚れや錆を防止するもの。
第2にコンクリート製品の外観（気泡、色、光沢）向上による製品価値のアップであり近年特にその要望がレベルアップしている。

コンクリート剥離剤に要求される性能は

- (ア) 剥離力（離型力）が良好であること。
- (イ) 製品表面に有害な欠陥を生じないこと。
即ち気泡（空隙）が生じないこと。侵食やコンクリートの硬化不良がないこと。着色や汚染がないこと。表面仕上げ（塗装、モルタル塗り、タイル張り等）に支障がないこと等である。
- (ウ) 型枠にセメントペースト（ノウ）が残存しないこと。
- (エ) 金属製型枠に対して防錆性を有すること。
- (オ) 塗布等の作業性が良いこと。
- (カ) 衛生上や防火上の安全性が高いこと。
- (キ) 品質が長期間安全であること。
等である。

剥離剤大別

1. 化学反応型 フォームコートA-2

脂肪酸系の添加物を使用し、セメントに含まれるカルシウムとの反応により、コンクリート表面にカルシウム石けんの被膜を成形しコンクリートの脱形を容易にし表面に被膜を形成するためコンクリート内部よりわき出るエアーが表面に露出しすらくなる。

2. 物理被膜型

樹脂被膜、ワックス被膜の物理的なものによって脱形を容易にする。

気泡

特に脂肪酸系添加剤の剥離剤は消泡効果は大きい。
剥離剤で気泡を少なくするには、脂肪酸の添加量の多いものを使用し、セメント中のカルシウムと反応を促進させ、型枠とコンクリートの界面の膜（カルシウム石けん）を厚くする事によりコンクリート表面に発生する気泡を覆い隠す必要があるが、カルシウム石けんは褐色をしているためコンクリートに褐色の着色をする傾向にある。

反応が強ければ添加剤の量を下げたもの、又弱ければ量を上げたものを使用する。

剥離剤の影響による色付は褐色のもので黒色系は他の要因によるものが多い。